

↓来賓

下京区役所
藤田副区長
藤木企画総務課長
下京消防団
西脇下京消防団長
下京消防署
三浦下京消防署長
諏訪消防司令
喜山消防士長以下
ご指導の署員十八名

今年も避難人員増える ご来賓のご指導に感謝

各町の避難人員は、昨年の二十二名増につき、七名増加し、二百九十名となる。自主防災会八名となる。自主防災会十八名、下京消防署員十名、消防分団員十三名、女性会二十七名、参加者は合計三百七十四名であった。



今年も
大正町の意識高揚
ジェット風船舞う

震度6～7にスタケールアップ 自主防災訓練 災害に強いまちづくり

震度七の重みと『想定被害状況』

午前九時三十分、『京都府南部に震度六から七度七が幅として加わった』ことである。各町内の地震が発生、修徳学区に被害が集中している。『被害』は大きくなるといふ想定で、今年も防災訓練が開始された。昨代表が、倒壊家屋数、火災発生件数、救出必要人員などを、各プロック長に報告した。被害が、状況の情報は被害状況の再検討が必要かもしれない。今回は『想定被害』の再検討が必要かもしれない。今回は『想定被害』の再検討が必要かもしれない。

木造家屋の耐震対策が心配 西日本は活動期に入ったか？

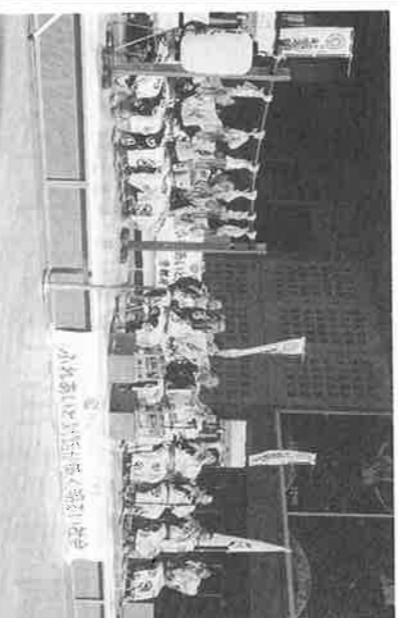
自主防災会の防災訓練から十一日の十月六日午後一時三十分、京都府はゆらゆらりと大きく揺れた。やや遠い地域だが大地震と直感した。阪神大震災の震度七にくらべて、震度六強との違いは驚いた。未知の活断層の横ずれ、神戸のような堆積層ではない固い地盤、雪の重みに耐えるための太い梁や柱など条件の差異があるとはいえず、今回の、鳥取県西部地震の被害が少なかつたのは、不幸中の幸いだった。西日本は活動期に入ったという実感がする。『震度七で倒壊しないう家屋対策ができていない』。識者の指摘が気になる。

避難訓練には 風向き情報も

最近、京都テレビのミチルで、京都市消防局の理事が危機管理研究所の指摘に従い、大地震今年も煙のなから訓練を始めた。ついで、整列後、情報伝達と情報収集の訓練に移った。つきに、本第一プロック長の指揮で、倒壊家屋からの大量の消火剤の流れに対して、風向きなどの局地的な気象情報が必要である。避難方向は生命を

第50回 社会を明るくする運動

記念セレモニーに参加して



今年、『社会を明るくする運動』京都府知事をはじめ、法務省関係各機関の方が、下京北地区京都駅前広場において開催されました。

平成十二年十月一日より、平成十四年九月三十日までの『下京区明るい選挙推進協議会推進員』は、つぎのようになります。

明い選挙推進協議会
新役員決まる

京都地区更生保護婦人会の各委員の皆様、そして私ども下京保護司会など総勢五百名余りはこの運動の半世紀の感慨を胸に、午後二時の開会を待たせました。

セシエ二一は、菊水輝子方に上ります。祝園囃子が始まり、京都府警音楽隊とカウガート隊の演奏で終了する。この華やかさでした。

ひき続き『ふれあいと対話が響く明るい社会』をキヤッチアップに、



倒壊家屋の負傷者
大震災の倒壊家屋



▲今年は一級参加者が、小型動力ポンプによる放水訓練に挑戦した。

左右する。この情報は誰が収集し、誰が伝達するか今後の課題である。

避難してきた学区民は今年も煙のなから訓練を始めた。ついで、整列後、情報伝達と情報収集の訓練に移った。つきに、本第一プロック長の指揮で、倒壊家屋からの大量の消火剤の流れに対して、風向きなどの局地的な気象情報が必要である。避難方向は生命を

一般参加者が
放水訓練体験

女性会のご協力による給食配布訓練のおにぎり数井さん(玉屋)ご苦労さまでした。

阪神淡路大震災では、八万二千棟を超える木造住宅が、全壊しました。『建築後三十年を経た建築物では崩壊、大破したものが五十八パーセント』あり、『家屋倒壊のため』の圧死によるものがこの震災の死者の大部分を占めた。『考え直そう地震防災ワークショップです。』

夢の半径、広がるね。

CHUSHIN 五条支店
五条通西洞院角
☎(351)2951

費用 ※三千円
※建設会社の無料診断より
気兼ねありません
構造 木造戸建を含む
規模 二百平方メートル
融資 三百万円
申込者 所有者
申込先 京都すまいる
センター
六〇一八〇四
問合せ先 申込先と同じ
（専業主婦歓迎）
六九二五三三
詳しくは
京都府都市計画
建築指導部指導課
☎三三三二六二〇

倒壊しない対策
わが家の耐震診断
ぜひ、お考えを！
阪神淡路大震災では、八万二千棟を超える木造住宅が、全壊しました。『建築後三十年を経た建築物では崩壊、大破したものが五十八パーセント』あり、『家屋倒壊のため』の圧死によるものがこの震災の死者の大部分を占めた。『考え直そう地震防災ワークショップです。』

各町の選手に盛り上がる意欲

ふれあいの学区民大運動会

雨の中開催の決断が光る

前夜の雨に加えて、早朝にもひと雨あって、雨音に自覚ながら開催を危ぶまれた方も多かったろう。「思つたより夜庭の状態がよかつた」という実感から、天気予報よりもグラブの湿度を優先してみた。ふれあいの各町選手に集中する声援が、順調に競技を盛り上げて進むし、どうとう、天は待ち切れなくなつたのだらう。二時から西の空が真つ黒に、喫煙競争に、はばこりと落ち出した。決勝技は割愛して、三競技は割愛することになり、この三競技を楽しむにしておられた幼児、高齢者、女性の方がたには申し訳なく思つている。なんとか成功のうちに終われ、学区民の皆様方のお陰と、とても感謝している。

天は待ち切れなかった？ 最後は雷雨のなか力走

学区民運動会は、十月九日(祝)、成徳中学校の優勝カッパなどのかたまりが目に入つたのか、即興で「大江町だけに競技賽の方がたを迎えて、開会式が始まつた。篠原会長が、あいさつして総合福祉施設の建設のため、他の町内も奮起し優勝が片寄つている。来た。雷雨の空へと黒い雲が流れ、真つ黒になるのが

に感じた。効果は抜群だった。優勝町内会は、大江町が女の子の音が聞こえ、雷鳴が聞こえてきた。置替競争、中野の町が玉入れ競技と壮年風船競走、布屋町が男子スノーリオリが目に入つたのか、即興で「大江町だけに競技賽の方がたを迎えて、開会式が始まつた。篠原会長が、あいさつして総合福祉施設の建設のため、他の町内も奮起し優勝が片寄つている。来た。雷雨の空へと黒い雲が流れ、真つ黒になるのが

下京区で四名のなかのおひとり、修徳学区では、上田亮三氏(明治三十三年四月十七日、亀屋町)がお元気に百歳をお迎えになりました。市長記念品などのお祝いの伝達式があり、お受けになりました。式の後、区長から「お祝い言葉」があり、「内閣総理大臣からの「祝い状」を、伝達並びに記念品、銀杯」贈呈。区長から、「市長からの記念品(京漆器舞盆)



■ 戴下優勝

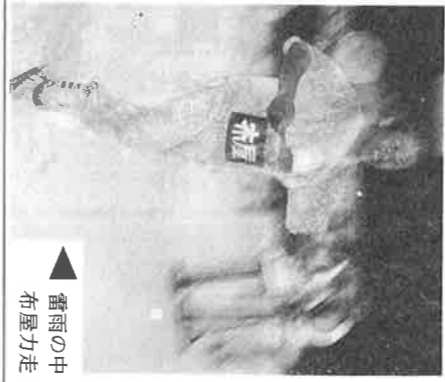
▲ 各町応援席賑わう

伝達者 区長 岡本 重雄氏
企画総務課 副区長 高木 進氏
長寿社会課 係長 内藤 隆氏
式次第
「区長から「お祝い言葉」
「区長から、「内閣総理大臣からの「祝い状」を、伝達並びに記念品、銀杯」贈呈
「区長から、「市長からの記念品(京漆器舞盆)

「百歳をこどもく

民生

「隣席者の紹介」
■ご家族
■区役所
■地域各種団体関係者
「お礼の言葉」
「お礼の言葉」



▲ 雷雨の中 布屋力走

みえた。隙間に稲光も見

へに決勝競技の優先を決断した。置替競争決勝を他町の若いランナーは、実施して、つぎの男子スノーリオリのさから、激しい雨となつた。



「お礼の言葉」
「お礼の言葉」



▲ 中野之が46個、大江43個



▲ アクシデントもあつたが大江順当勝ち

ご来賓紹介

- 下京区 区長 岡本 重雄 様
副区長 福田 正 様
地域振興課 課長 福田 正 様
下京区体育振興会連合会 会長 筒井 秋雄 様
副会長 木下 昭男 様
相談役 西脇 尚一 様
- 成徳中学校 校長 清水 孝章 様
教頭 吉田 光廣 様
洛央小学校 校長 吉川 栄一 様
教頭 梅戸 徹 様
元修徳小学校 校長 佐々木 毅 様
楊梅幼稚園 園長 鈴鹿 幸子 様



告知板

社会福祉協議会

満七十歳以上の高齢者の方がたへ「敬老祝い」として、今年も二百九十名の方に「万寿堂」の赤飯をお届けいたします。ご夫婦お揃いのご入へは昨年同様おほぎとペアにさせていただきます。

九月十五日(金) 祝

※下京区早朝オトキソング大会が、梅小路公園をメインに開催されました。清掃活動、すこやか体操、ダンス、ソングリト、子供さんからご年配の方まで、多数の方が参加されました。

米寿のお祝い

今年も敬老の日を前に、米寿をお迎えになつた皆様に、寿をお迎えになつた皆様に、京都より「敬老記念品」が贈呈されました。二十一世紀に向かって、ますますお元気に折り返しおめでとうございます。

対象の方がた

- 岡本 さん(小田原) 岡本 八重(深草) 北島 潔子(材木) 近藤 清一(亀屋) 坂田 初栄(天堀) 田中 信道(月見) 松井 弥三郎(深草) 松尾 はま子(富永) 矢部 小ふさ(天堀) 山崎 幸エ(天江) 山本 さかゑ(亀屋) 和田 キノ(戴下)

おめでとらうございます

- 九月十八日 京都市老人クラブ連合会 滝上 盛祝賀表彰
牧野 甚之助(材木)
九月九日 下京区長表彰
下京区体育振興会連合会 会長表彰
福井 正樹(弁財天) 吉岡 雄弥(御供石)
九月九日 京都保健観察所長感謝状
篠原 實(月見) 川成 茂照(天江)
富田 迪子(布屋) 森 孝子(御供石) 柿本 富美恵(布屋)
十一月九日 社会福祉事業特別労務表彰
社会福祉協議会 会長 松本 祥男